

# 第一新聞

発行所  
第一未来館  
Tel:088-655-5001

第152号



## 中学受験と「超聖水」学びの旅の真価

皆さんは、漫画「ドラゴンボール」の中で超聖水の話を知っていますか？主人公の悟空が強くなるために、神様であるカリン様から超聖水をもらいに行く物語です。カリン様は超聖水を手渡そうとしますが、実際には悟空が壺を手にするたびに、カリン様を取り返します。悟空は壺を奪い返すために、何度も何度もカリン様との追いかけてを繰り返します。この追いかけては、悟空にとって厳しい修行となり、体力と精神力を鍛え上げました。そして、ついに悟空が超聖水を手に入れる日が来ますが、その中身はただの水だったのです。驚く悟空に、カリン様は教えます。「本当に大切なものは、水そのものではなく、その水を手に入れるために経験したこと、身につけた力だ」と。

中学受験も、この物語のようなものです。多くの生徒が受験の成功、すなわち「超聖水」を手に入れることを最終目標と考へがちですが、それ以上に価値があるのは、受験勉強を通じて得た知識や解決能力、精神的な成長です。試験の結果がどうであれ、これらの力は皆さんをより強くし、中学校での学びに大きな武器となります。

だからこそ、受験勉強は「ゴールではなく、新しいスタートです。試験の日に向けて一生懸命勉強する毎日、皆さんを成長させ、強くするのです。カリン様と悟空の追いかけてが悟空を成長させたように、受験勉強もまた、皆さんを成長させる貴重な機会なのです。中学校への進学は、皆さんの学びの旅の次の章に過ぎません。今、手にしている知識と経験を活かして、さらに素晴らしい未来を築いていくべきです。それが、皆さん自身の「超聖水」なのです。

## 人の心・社会の心



(日下先生)

先日テレビ番組で、おそらく私の世代ならだれもが知っている演歌歌手・八代亜紀さんの生前を振り返る番組がありました。独特の声色の数々のヒット曲を世に送り出した人なので、さぞかし華やかな生活を送っていたのだろうと勝手に思っていました。ところが、実際は違っていたようです。

若いころに天涯孤独の女性ファンを自宅に招き入れ、付き人として雇いながらその女性ファンの方の面倒を見たり、各地で災害が起れば頻りに足を運び、曲を披露被災地の方々に元気づけたり。特に記憶に残ったのは、少年・少女の刑務所を慰問し、若い受刑者の方に生きる意味・喜びを説いて回ったり、人のため社会のために何が出来るかを常に考えて行動していたと知り、驚きとともに感銘を受けました。

自身の利益や損得勘定無しに世の中に役立つことをしようと考えるだけでも立派ですが、行動に移すのはもっとすごいことだと思います。私自身に置き換えて考えてみると、反省・改善すべき点はたくさんあると思っています。

このことを知る前から「舟唄」や「雨の慕情」はいい曲だと認識していましたが、今この曲を改めて聴くと、また違った良さが発見できると思います。

(竹田先生)



## 冬休みの過ごし方

さあ、今年もやってきました！2024/25冬期講習会！特に小6生や中3生の皆さんの場合は、この冬が頑張りどころです。自分の目標をクリアするため、仕上げや追い込みの勉強をしていかなければいけません。徳島第一ゼミの冬期講習会をもとに、冬休みの過ごし方をスケジューリングして、最高に有意義な受験勉強生活となるように準備しておきましょう。

そして、今回の冬期講習会でも大きなイベントとなるのが小6正月特訓・中3正月合宿です。小6生は冬休み明けにすぐ附属中や城ノ内中の中学受験がありますので、1月2・3日で日帰り特訓の形式としています。中3生では冬休み後に第3回基礎学力テストがありますので、それに向けて徹底的に5教科の対策をすすめていくようにしています。さらに、中3生は宿泊（アパホテル徳島駅前）も込みでの勉強合宿となります。

また、小6正月特訓・中3正月合宿ともに、2日目に天神社さんに訪問し、一人ずつ合格祈願をして頂きます。今その時しかないものとして、小6生・中3生の皆さんの思い出となるでしょう。受験生仲間や友達同士で楽しさも共有しましょう。

冬休み後、皆さんにはそれぞれの戦いが待っています。まずは小6生の皆さん、中学受験が終わった後こそ、心を新たに新学年の勉強を始めなければいけません。中学入試が終わった後に、一旦休息をとってしまつと、勉強体勢に戻すのに結構な時間がかかってしまいます。その間に子供同士で絶対的な勉強時間・量に差が生まれてしまつのです。最低でも自分の基本的な勉強スタイルは崩さず、中学受験後も前向きな心を持って、先を見据えた勉強を続けていきたいと思います。勉強の積み重ねが、後々さらに大きな結果として出てきます。

中3生の皆さんにとっては、第3回基礎学力テストが控えています。冬休みの過ごし方によって、テスト結果に大きな違いが出てくるでしょう。5教科(英語・数学・国語・理科・社会)の総合点で競うものとなるため、教科のバランスも考えて、勉強により本気で励みましょう。基礎学力テスト後も各中学校で実力テストや卒業テスト等があり、それらの成績も出願する高校の判定資料にはなりますが、やはり基礎学力テストの存在は、はるかに大きいものがあります。心して掛かりましょう。

ですが、冬休みの過ごし方の良し悪しで、テスト結果に大きな違いが出てくるでしょう。5教科(英語・数学・国語・理科・社会)の総合点で競うものとなるため、教科のバランスも考えて、勉強により本気で励みましょう。基礎学力テスト後も各中学校で実力テストや卒業テスト等があり、それらの成績も出願する高校の判定資料にはなりますが、やはり基礎学力テストの存在は、はるかに大きいものがあります。心して掛かりましょう。

(工藤先生)

## 毎日登校・毎日学習

自習室で学習する生徒が、ここ数か月の間に非常に増えてきています。彼らの様子を見てみると、保護者の方や教師に勉強させられていたような消極的な姿勢ではなく、集中して勉強できる環境を自ら求めて積極的に動いているように感じます。授業の前後の時間だけでなく、授業がない曜日にも来校し、合格に向けて頑張っている子どもたちの姿に、本当に胸が打たれる思いです。小6生や中3生といった受験学年の生徒だけでなく、下級生にも自習室で頑張る空気ができており、塾内に非常に良い雰囲気が出ています。それぞれの目標に向けて、この調子で最後まで走り続けてほしいと心から願っています。

塾で授業があるのは、週二回や週三回だと思います。しかし塾がある日に勉強するだけでは、残念ながらなかなか成績は伸びません。むしろ大切なのは、塾での授業がない他の曜日にしっかりと勉強を続けるかどうかであり、授業の予習・復習や宿題をどれだけ徹底するかによって、学力の差は生まれてきます。

しかし家の中には、スマホ・テレビ・ゲーム・漫画・動画・インターネットといったたくさんの誘惑が存在します。そうした誘惑の中で集中して勉強を毎日こなしていくのは、大人であっても難しいのではないのでしょうか。保護者と面談すると、「家ではなかなか勉強に集中できなくて・・・」という話をよく聞きます。もっとたくさん話をよく聞きます。もっとたくさん話をよく聞きます。もっとたくさん話をよく聞きます。一緒に頑張りましょう！

## 大学受験の「つよ」を考える

☆2部制の後半です！

そして、皆さんに今すぐしてほしいことは、志望大学の決定です。もちろん、後々変わってもいいですから、とりあえず「つよ」を目指すと本気で思うことが大切です。志望校を決めると意識が変わりアンテナが立つので情報が集まりいろいろなことを知ると危機感とやる気が高まるからです。

また、難関大合格に必要な勉強時間は4000〜5000時間と言われていますが、これは高校3年間の話で中学卒業までの15年間の勉強時間は含まれません。そのため、実際にこの量を勉強したとしても高校入学時の学力に差があるため結果も同じになるとは限らないのです。では、どうすればいいのでしょうか？答えはスタートラインに立つまでにどれだけ他の人に差をつけておけるかが勝負の分かれ目だということです。

「もっと早く教えて欲しかった」と思っている、その君。過去のことは取り返ししようがありません。だからこそ、出遅れてしまつた地方の私たちはいます。目標に向かってスタートしましょう。(宇都宮先生)

## 勉強への向き合い方

皆さんは普段家でどれくらい勉強していますか？勉強と聞くと机に向かってさあやるぞ、と気合を入れて、というようなイメージをすぐに頭に思い浮かべる人がほとんどだと思えます。

実は勉強して机に向かわなくとも、気合を入れなくともできるもの。だということを知っていますか。寝転がりながら参考書を読んだり、洋楽を歌ってみたり、大河ドラマを見たりするだけでも、それは勉強になります。こんなことを言うのは「真剣さが足りない」と、その道のプロの人達には怒られそうです。真剣さを伴った勉強が必須なことは公然の事実として、私が言いたいのは、日常と勉強をあまり切り離して考えないようでしたらいいことです。勉強を生活と隔絶した特別な時間として捉えず、勉強の時間がとても億劫なものに感じられ、それを強いられる毎日が嫌になりませんか？

漫画を読んでいても出てくる漢字を覚えていけばそれは勉強になりますし、映画を字幕で見ればそれも勉強になります。最近脳トレアプリなんかで計算の練習などもできます。勉強というのは日常生活の一部であり、私達の生活に密接に関係しているものなのだ、一度考えてみてほしいのです。

いつか海外旅行をして、そこで見た歴史的建造物に興味を持つ時が来るかもしれません。外国人の友達ができ、その人ともっと仲良くなりたいたいと思う時があるかもしれません。ふと夜空を見上げた時、星や宇宙の壮大さに心を奪われることがあるかもしれません。そんな時、知識があるかないかでその先の人生や、瞬間的に味わえる感動の大きさが変わってくるのです。自分の人生を豊かにするために、楽しみながら勉強できる力を身に付けてほしいと思います。



(今岡先生)